

223社・団体が一押し製品

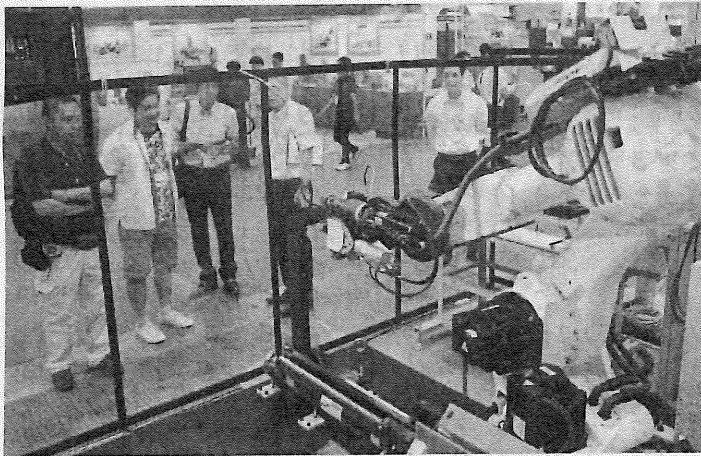


来場者でにぎわう「MFT-Tokyo2015」の会場

MFT-Tokyo 2015
プレス・板金・フォーミング展

15日に始まった塑性加工技術に関する専門展示会「MFT-Tokyo 2015 プレス・板金・フォーミング展」では、レーザー加工機やサーボプレス機を中心に業界最大手から中堅・中小企業まで223社・団体が一押し製品を披露している。目を引いた出展を紹介する。
(1面参照)

オプトン



オプトン(愛知県瀬戸市)はロボットを用いたパイプの曲げ加工をするロボットベンダー「TWIN20-S」も直径10mmと12・7mmという太さの違う

2種類のパイプの加工を交互にこなしていた。「ロボットなので自分でパイプを取りにいて、自分で排出する。これだけで簡単な自動化のシステムが組

パイプ2種 交互に加工

める」(細井顕久大阪営業所長)というこの装置は、カーエアコン用の配管など自動車産業向けのパイプ加工で多く使われている。

特に威力を発揮するのは、近年普及が広がるハイブリッド車などで採用される複雑形状の配管の生産だ。通常のベンダー機では複雑形状のせいで「干渉が起きて曲げられないもので曲げられる」(同)